

平成22年3月期
ミニディスクロージャー誌

第38期 営業のご報告
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)



みちのく銀行からの
お知らせです。

Michinoku Bank

MINI DISCLOSURE 2010.3

みちのく銀行



取締役頭取

杉本 康雄

皆さまには、平素よりみちのく銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行へのご理解を深めていただくために、「平成22年3月期ミニディスクロージャー誌／第38期営業のご報告」を作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

世界の金融・経済は、一昨年のリーマンショックを契機にした混乱も各国政府などの対応策により、全体としては緩やかな改善傾向にあるものの、依然として先行き不透明であり、地元においては、本格的な景気回復までにはまだ時間を要する状況下にあります。

そのようななか、当行は、目指すべき銀行像として掲げている「地域最優の銀行」を実現するために、第二次中期経営計画「新たなステージへの挑戦～総合力の発揮に向けて～」(平成21年4月～平成24年3月)の達成に向けて積極果敢に取り組んでおります。計画の重点方針のひとつである「営業力の強化」につきましては、法人のお客さま対応の専門部署として、「法人営業課」を各地区の中核となる営業店に設置、さらには、個人のお客さまの資産運用に関する高いスキルを有する「マネーコンサルタント(通称:MC)」を、各営業店に順次配置するなど、お客さまのニーズにこれまで以上に的確、スピーディーにお応えしていくための営業体制を再構築しております。

また、昨年9月には、金融機能強化法を活用した資本増強を行い、財務基盤を一層強化いたしました。その結果、一昨年10月に宣言した「みちのく銀行の決意」(裏表紙をご参照ください)を永続的に実行する態勢は強固なものとなりましたので、地元の中小企業、個人の皆さまへの安定的かつ円滑な資金供給等を継続して推進してまいります。

なお、平成21年度の普通株式の配当につきましては、株主の皆さまへの安定配当の維持と今後の安定的な財務基盤の維持・強化の両面から、1株あたり3円(期末配当3円)とさせていただきます。

また、役員賞与ならびに役員退職慰労金制度を廃止するとともに、新たに業績連動報酬と株式報酬型ストックオプション制度を導入しております。これにより、役員は、中長期的に当行の企業価値を向上させることを目指し、株主の皆さま、お客さまを重視する経営意識をより一層高めてまいります。

「第二次中期経営計画」の2年目である平成22年度は、「とことん聞く、とことん提案。」をキャッチフレーズに、全役職員がお客さまの声にこれまで以上に耳を傾け、ニーズを的確に把握した上で、真にお役に立てますよう、全役職員一丸となって誠心誠意努力を重ねてまいります。より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

目次

ごあいさつ	1	お客さまのために	9
第二次中期経営計画	2	財務諸表	12
業績ハイライト	3	株式の状況・株式のご案内	14
CSR(企業の社会的責任)への取り組み	6		

プロフィール(平成22年3月31日現在)

名称	株式会社みちのく銀行
設立	大正10年(1921年)10月27日
本店所在地	青森市勝田一丁目3番1号
資本金	341億67百万円
従業員数	1,320名
店舗数	国内：本支店98、出張所4 海外：駐在員事務所1(上海)
主要勘定	預金残高……………1兆7,452億円 貸出金残高……………1兆2,421億円 有価証券残高……………4,316億円 自己資本比率…11.95% (連結ベース/国内基準)

第二次中期経営計画

● 新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～

当行は、引き続き、「地域において圧倒的な存在感を持つ『地域最優の銀行』」を目指すべき銀行像に掲げ、平成21年4月から平成24年3月までの3カ年を計画期間とする、「第二次中期経営計画『新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～』」に取り組んでおります。

「第一次中期経営計画」で築き上げた経営基盤をさらに充実させ、そのうえで地域密着型金融をベースとした営業力の強化、人材育成の強化といった、生産性向上のためのさまざまな施策を展開することで、あらゆる面において総合力を発揮できる力強い組織を目指しております。

第二次中期経営計画

新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～

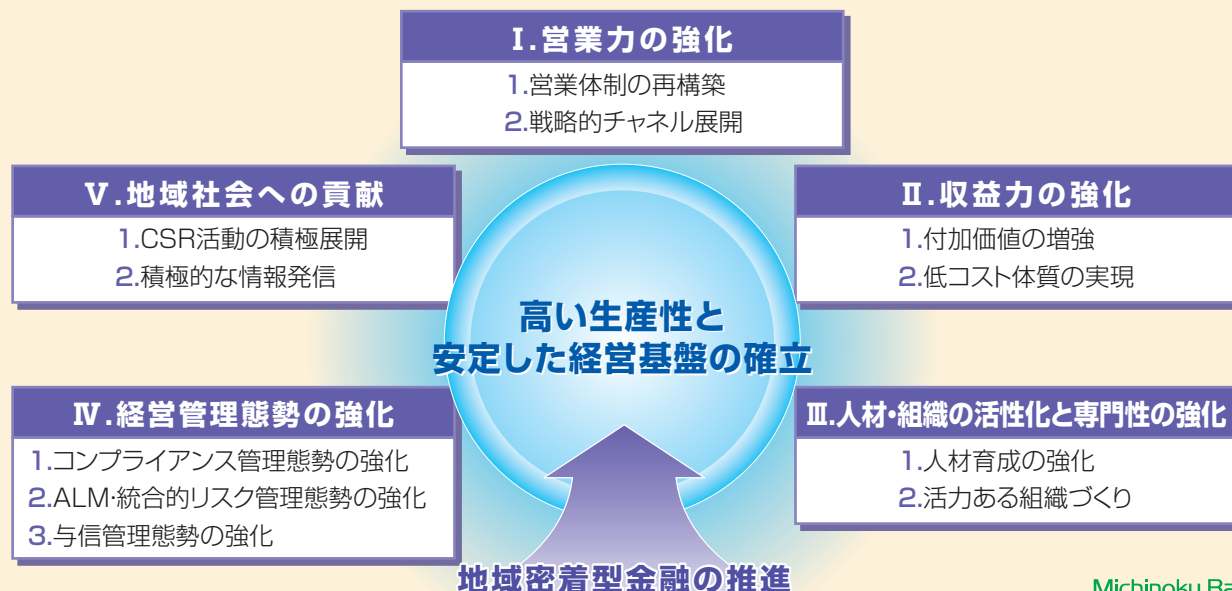
地域において圧倒的な存在感を持つ「地域最優の銀行」

※「地域最優の銀行」とは、「①地域で最もお客さまの満足度が高い銀行」「②地域発展のために貢献していく銀行」「③職員がいきいきと働く活力のある銀行」の3つを備えたものです。

● 重点方針と基本戦略

重点方針

「第二次中期経営計画」では、「営業力の強化」「収益力の強化」「人材・組織の活性化と専門性の強化」「経営管理態勢の強化」「地域社会への貢献」の5つの重点方針を定め、さまざまな基本戦略を展開しております。

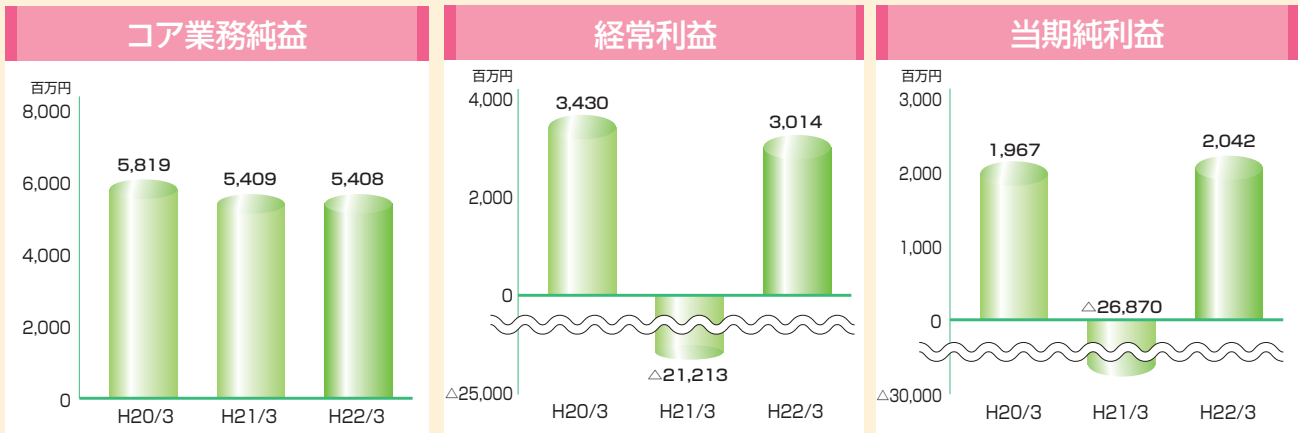


業績ハイライト

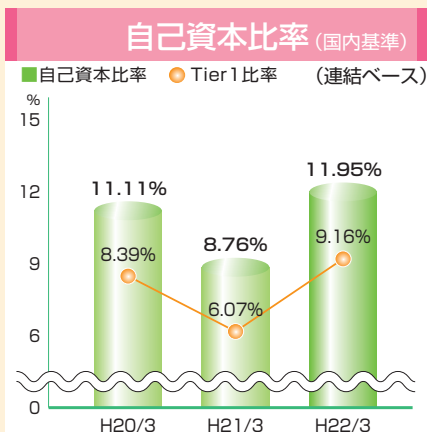
収益の状況

コア業務純益は、前年同期と同水準の54億円となりました。

有価証券関係損益が前年同期比210億円増加し14億円の利益を計上、与信費用が前年同期比47億円減少し29億円となったこと等により経常利益は前年同期比242億円増加の30億円、当期純利益は前年同期比289億円増加の20億円となりました。



自己資本比率の状況



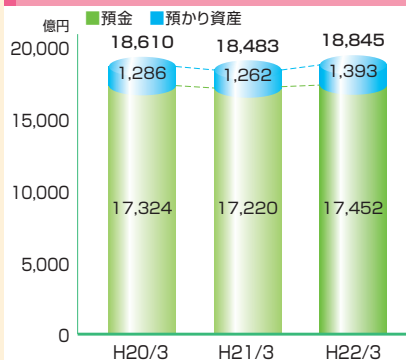
経営健全性の指標である自己資本比率は、連結ベースで11.95%、単体ベースで11.99%と、国内基準行に求められている4%を大幅に上回り、引き続き十分な健全性を確保しております。

預金・預かり資産の状況

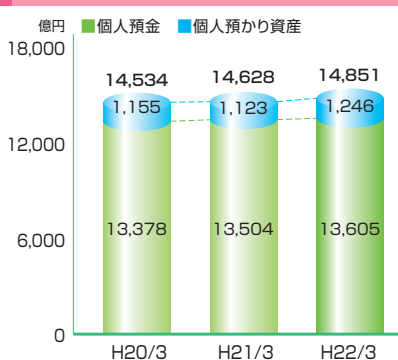
預金は、前年同期末比232億円増加して1兆7,452億円となり、預金・預かり資産の合計残高は、前年同期末比362億円増加の1兆8,845億円となりました。

個人のお客さまの預金・預かり資産の合計残高は、預金・投資信託・年金保険の増加により、前年同期末比223億円増加の1兆4,851億円となりました。

預金・預かり資産残高



個人預金・個人預かり資産残高



預金に占める青森県+函館地区預金残高の割合

預金残高 1兆7,452億円



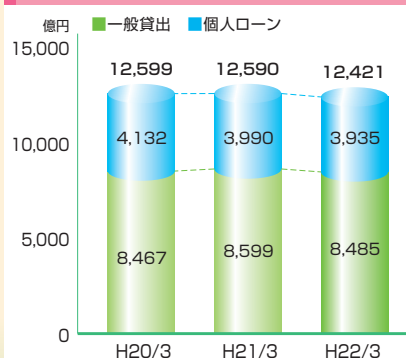
平成22年3月末

貸出金の状況

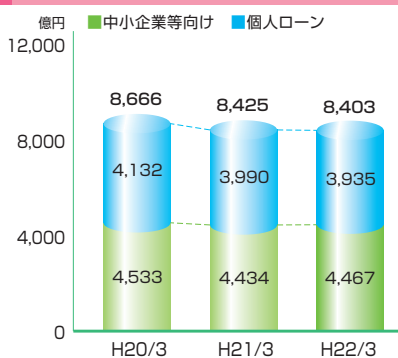
貸出金は、地元(青森県内・函館地区)の貸出は増加したものの、県外都市部を中心に減少したこと等から、前年同期末比169億円減少し1兆2,421億円となりました。

主要営業基盤の青森県・函館地区における貸出金は、貸出金全体に占める割合が77.7%となりました。

貸出金残高



中小企業等向け・個人ローン貸出金残高



貸出金に占める青森県+函館地区貸出金残高の割合

貸出金残高 1兆2,421億円



平成22年3月末

資産健全化への取り組み

金融再生法開示債権は、前年同期末比71億円減少し、対象債権に占める開示債権の比率は、前年同期末比0.50ポイント改善しております。

また、金融再生法開示債権に対する保全率は、厳格な基準に基づいた引当を実施しました結果、全体で97.8%と、引き続き高い水準を維持しております。

今後も、不良債権発生抑制や、再生および最終処理に向け、審査・管理体制の強化を図ってまいります。

与信関連資産に占める各債権の割合

対象債権合計 1兆2,593億円

対象債権全体の3.87%程度と
なっております。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
1.14%(145億円)

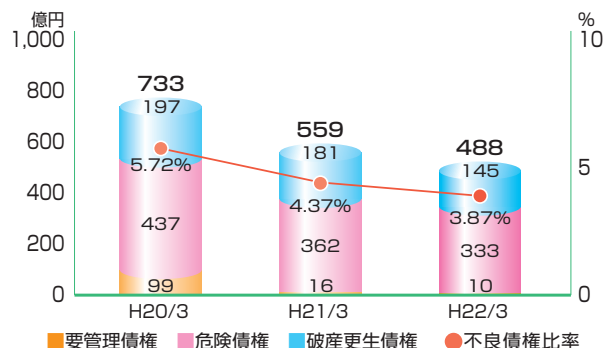
危険債権
2.64%(333億円)

要管理債権
0.07%(10億円)

正常債権
96.12%
(1兆2,105億円)

平成22年3月末 (金融再生法基準)

金融再生法に基づく開示債権の推移



金融再生法開示債権の保全状況

(平成22年3月末)
単位:億円

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	145	145	108	35	100.0%
危険債権	333	325	204	121	97.7%
要管理債権	10	6	4	2	68.1%
計	488	477	317	159	97.8%

※債権回収の危険度合いなどに応じて、次の4種類に区分しております。

- **正常債権**：財政の状態や経営成績など、特に問題のない取引先に対する債権。
- **要管理債権**：3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件を緩和した取引先に対する債権。

- **危険債権**：まだ経営破綻には陥っていないが経営難の状態にあり、正常な返済ができない可能性の高い取引先に対する債権。
- **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**：経営破綻状態にある取引先に対する債権。

CSR（企業の社会的責任）への取り組み

コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取り組み

●コーポレートガバナンス

当行が永続的に成長・発展していくためには、経営環境の変化に対応しながら、経営効率の向上、経営の健全性を確保していくことが重要であると認識しております。継続的にガバナンス体制を強化、整備するとともに、その方針が当行内部において浸透し、実践されるよう内部統制を強化しております。

●コンプライアンス

当行では、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付け、健全な経営を維持・向上させていくために、コンプライアンスに関する取り組み方針、運営体制を定め、役職員の共通認識のもと、徹底した取り組みを実践しております。

お客さまへのサービス向上に向けた取り組み

●CS（お客さま満足度）向上



「象の耳（お客さまの声）カード」をはじめとした各種アンケート等の実施を通じ、お客さまの声（ご意見・ご要望等）を幅広く吸収するなど、「CS（お客さま満足度）向上」に向けた各種取り組みを積極的に行っております。

●マナー研修「ひまわり」

お客さまへのサービス向上の基本となるビジネスマナーアップを目的に、マナー研修「ひまわり」を実施し、マナーアップリーダーの育成を行っております。



マナー研修「ひまわり」

積極的な情報開示への取り組み



IR説明会開催（東京）

お客さまや株主の皆さま、そして地域の皆さまといったステークホルダーの方々に当行の経営状況をご理解いただくために、積極的な情報発信に努めております。

情報開示スケジュール

6月 1 IR説明会開催（東京）・有価証券報告書提出・ミニディスクロージャー誌発行

7月 1 ディスクロージャー誌発行

8月 1 第1四半期決算発表・第1四半期報告書提出

10月 1 アニュアルレポート発行

11月 1 中間決算発表・第2四半期報告書提出

12月 1 中間ミニディスクロージャー誌発行・IR説明会開催（東京）



社会貢献活動への取り組み

● 「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」の活動

地域振興および地域貢献活動を行っている個人、団体、企業への助成金等の支援を目的に、「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」（基本財産 10 億円）が継続的な助成活動を行っております。



助成事業は、「地域振興」「教育・福祉・環境」「育英奨学金」となっており、地域の発展に寄与するために皆さまを永続的に支援してまいります。

お問合せ先：財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 事務局
Tel. (017) 774 - 1179

● 地域のスポーツ振興・伝統芸能の継承

地域のスポーツ振興、伝統芸能の継承などを目的に、各種支援を行っております。



青森県民駅伝競走大会



青森県ちびっこ手踊り王座決定戦



バンクーバーオリンピック
カーリング日本代表決定戦

【主な支援活動】

- 青森県民駅伝競走大会
- 弘前・白神アップルマラソン
- バンクーバーオリンピック カーリング日本代表決定戦
- 青森県ちびっこ手踊り王座決定戦

カーリングの街を標榜する青森市を活動拠点とするカーリング女子「チーム青森」を、地域金融機関として応援して盛り上げていくことを目的に、「チーム青森応援定期預金」を、期間限定（平成22年3月末まで）で販売いたしました。



お預け入れ10万円につき5円を、チーム青森活動資金として、当行が青森県カーリング協会へ寄付させていただく商品であり、約360万円を寄付しております。（寄付金については、お客さまのご負担はなく、当行が負担しております。）

● 地域の「安全」・「安心」なまちづくりのために
地域の皆さまが安全・安心して暮らせるまちづくりのために、地域社会の一員として、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

【AEDの設置】

青森県内に本店を有する金融機関では初めて、「AED」を本支店 33 カ所に設置し、お客さまがより安心してご来店いただける安全な店舗環境の整備に努めております。



【こども110番の店】

登下校時の児童生徒をねらった凶悪犯罪等が相次いで発生しているなか、児童生徒が危険を感じ、助けを求めてきた場合、保護し、警察へ通報する等「こども110番の店」の活動を展開しております。



●農山村の活性化への取り組み

当行では、企業と青森県内の農山村の交流拡大と、企業と農山村の活力の向上を目的に、青森県が実施している「農山漁村と企業の連携活性化事業」に、社会貢献活動の一環として、当行職員および家族が参加しております。



環境保全への取り組み

青森県の美しい自然環境を次の世代に引き継ぐために、環境保全への取り組みに関する国際規格である「ISO14001」の認証を、本部および全営業店で取得し、認証の登録を維持・管理しております。



当行が掲げる「みちのく銀行環境方針」に基づいて、全役職員が一体となり、さまざまな活動を展開しております。

●「住宅ローンエコライフ応援キャンペーン」の実施

住宅ローンを新規で契約いただいたお客さま（先着1,200名）に「カーボンオフセットQUOカード」を進呈する『住宅ローンエコライフ応援キャンペーン』を期間限定（平成22年9月末まで）で実施しております。

当行が「カーボンオフセットQUOカード」を購入し、地球温暖化に取り組むもので、住宅ローンをご利用になるお客さまが、間接的に温室効果ガス削減に貢献できます。

●「チャレンジ25キャンペーン」への参加

政府が推進している地球温暖化防止国民運動「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、クール・ビズの実施など、さまざまな活動を展開しております。

未来が変わる。
日本が変わる。
25



●青森市植林事業への参加

平成4年より青森市が安全で良質なおいしい水の安定供給を目的に取り組んでいる植林事業に賛同し、広葉樹苗木（ブナ等）購入代金に充当される寄付金の拠出（平成4年度～平成22年度までの寄付金総額730万円/苗木本数にして約35,000本分）、当行役職員とその家族が植林するなどボランティア活動を行っております。



職員がいきいきと働く職場づくり



当行では「職員がいきいきと働く活力のある銀行」を作り上げるために、雇用環境の整備や積極的な人材登用を行うための体制整備に努めております。

●人事制度

若手層から中高年層までの全ての職員が、自らの能力を最大限に発揮できる人事制度を運用しております。

●嘱託から行員への登用

豊富な業務スキルと高い業務意欲を持った嘱託を、積極的に行員へ登用し、人材の活性化を図っております。

●人材育成プログラム

各業務の基本スキルを確実に取得した上で、営業力・専門性を存分に発揮できる人材ならびに当行の将来を担っていく人材を確実にかつ継続的に育成していくことを目的に、「人材育成プログラム」を実施しております。

●妻の出産休暇

「次世代育成支援対策推進法」により、当行が策定した行動計画目標に基づき、仕事と子育てを両立できる環境を整備しております。

お客さまのために

平成22年4月より、「とことん聞く、とことん提案。」をキャッチフレーズに、新営業体制の展開に伴う新たな当行の決意とともに、中小企業円滑化法施行等の背景を鑑み、お客さまのニーズにあった提案型営業および課題解決支援型営業を展開しております。



個人のお客さまのために

●個人営業体制の強化

店舗機能に応じた戦略的な店舗展開として、「個人店」を19カ店（インストアランチ4カ店を含む）まで拡大しております。

個人のお客さまのさまざまなニーズへの対応を一層強化するために、全店の「営業部門」を「窓口サービス課」、「渉外部門」を「個人営業課」にそれぞれ変更しております。また、資産運用ニーズ等への提案に関する専門スキルを有する「マネーコンサルタント（通称：MC）」を随時配置しており、平成22年度末を目処に全店に配置する予定です。



個人店（筒井支店）

●住宅ローンセンターの強化

「住宅ローンセンター」は住宅ローン専門のアドバイザーが、住宅関連業者さまや個人のお客さまのご都合に合わせて訪問し、お客さまのニーズに的確、スピーディーに対応しております。



- ・青森住宅ローンセンター（みちのくマイホームプラザ青森内） ☎ 0120 - 083709
- ・弘前住宅ローンセンター（弘前営業部内） ☎ 0120 - 143709
- ・八戸住宅ローンセンター（八戸営業部内） ☎ 0120 - 443709
- ・函館住宅ローンセンター（函館支店内） ☎ 0120 - 663709

●A T Mネットワーク網の強化

A T Mネットワーク網の充実を図り、お客さまの利便性向上を目指して、平成22年4月より、北海道銀行、青い森信用金庫の各金融機関と、A T M共同利用を開始しております。



●預金・ローン商品のラインナップ強化

お客さまのライフサイクルに合わせたさまざまなニーズにお応えできるよう、預金商品、ローン商品について、新商品の開発やサービス向上に積極的に取り組んでおります。



法人・事業主のお客さまのために

●法人営業体制の強化



中核店（八戸営業部）

各地区の中核となる営業店18ヵ店において、従来の「融資部門」を「法人営業課」、「融資課」の2課体制に発展的に分離し、「法人営業課」を法人のお客さま対応の専門部署とするなど、営業体制の大幅な改革を実施しております。

「法人営業課」には高度化、多様化する法人のお客さまのニーズに的確、スピーディーにお応えすることのできる知識と経験を積んだ行員を配置し、お客さまにメリットのある情報提供や商品等を提案していくことで、地域密着型金融を一層推進してまいります。

●10行合同「日本食品展示商談会 in 上海」の開催

平成21年10月に鹿児島銀行、山陰合同銀行、静岡銀行、七十七銀行、千葉銀行、八十二銀行、広島銀行、ふくおかフィナンシャルグループ（福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行）、北洋銀行と合同で、「第3回日本食品展示商談会 in 上海」を開催しております。

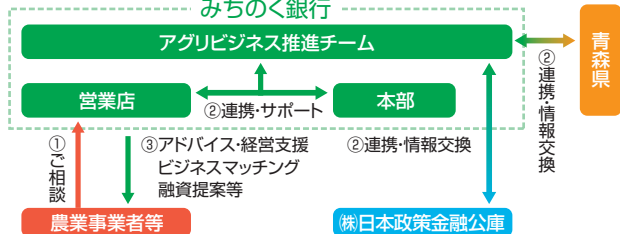


本商談会は、日本の食品・農産・水産企業と中国で食品に関わる多業種の関係者が一堂に会し、新たなビジネスチャンスの創出や交流を図ることを目的としております。

●アグリビジネス推進チームの設置

「農林水産業」に特化したさまざまな取り組みを行うため、株式会社日本政策金融公庫「農業経営アドバイザー」の試験合格者を中心に構成した「アグリビジネス推進チーム」を設置しております。農商工連携ビジネスマッチング等の活動を通じて、農業を中心とした事業者の事業発展と青森県経済の発展に寄与してまいります。

●アグリビジネス推進チーム 活動イメージ図



●みちのく農業応援ローン

青森県農業信用基金協会と提携し、農業事業者向け「みちのく農業応援ローン」を発売開始しております。

本商品は、当行が定めている借入額までは原則「無担保」「第三者保証人不要」である他、無理のない返済期間、多様な返済方法の設定が可能であるなどが特徴です。

●みちのくCSR型私募債

CSR（企業の社会的責任）活動（「環境保全」、「コンプライアンス遵守」、「雇用機会均等」、「地域貢献」など）に積極的に取り組んでいる企業をサポートするための一環として、「みちのくCSR型私募債」を取扱開始しております。

本商品は、当行のCSR活動のひとつと捉え、CSR活動に取り組む地元企業の皆さまへの支援を通じて、地域の発展に貢献してまいります。

● 動産担保融資 (ABL)

中堅・中小企業のお客さまのさまざまな資金需要にお応えするために、商品・原材料といった商品在庫や売掛金などを担保にご融資する「動産担保融資」(ABL)への取り組みを強化しております。

また、青森県の基幹産業である「農林水産業」分野に対しても、ABLを積極的に取り入れていくことで、地域経済の活性化に努めてまいります。



● ABL イメージ図

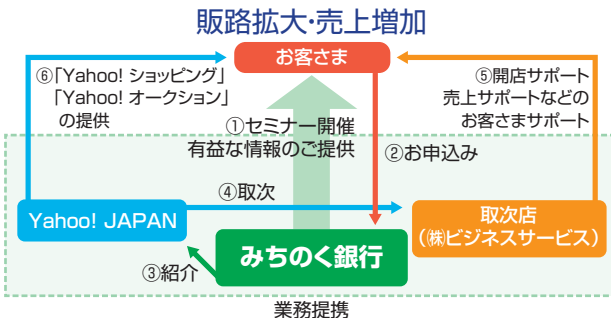


● 「Yahoo! ショッピング」・「Yahoo! オークション」 出店支援サービス

「ヤフー株式会社(本社:東京都)」が提供する『Yahoo! ショッピング』・『Yahoo! オークション』出店支援サービスを、県内金融機関では初めて取扱開始しております。

出店を希望されるお客さまをヤフー株式会社へ紹介し、地元中堅・中小企業のお客さまの販路拡大をサポートしていくことで、地域経済の活性化に努めてまいります。

● 「Yahoo! ショッピング」・「Yahoo! オークション」 出店支援サービス イメージ図



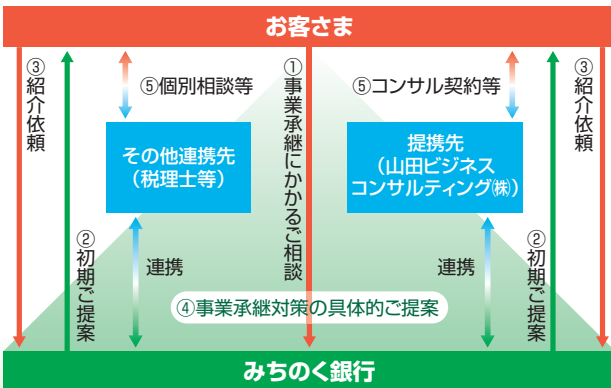
● 事業承継支援サービス

中堅・中小企業の多くのお客さまが、重要な経営課題と位置づけている事業承継問題への支援を強化する一環として、事業承継支援サービスを取り扱っております。



事業承継支援サービスは、資産の承継(物的承継)と経営の承継(人的承継)の両面から、専門機関との提携のもと、各種提案から実行に至るまで、円滑な事業承継をサポートしてまいります。

● 事業承継支援サービス イメージ図



財務諸表

※財務諸表（単体・連結）の各表は、一部の科目を省略して表示しております。

財務諸表

● 貸借対照表

（平成 22 年 3 月 31 日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	47,206
コールローン	101,703
買入金銭債権	6,180
商品有価証券	178
金銭の信託	19,995
有価証券	431,684
貸出金	1,242,176
外国為替	986
その他資産	5,326
有形固定資産	13,185
無形固定資産	2,103
繰延税金資産	12,207
支払承諾見返	11,947
貸倒引当金	△ 25,807
資産の部合計	1,869,074
(負債の部)	
預金	1,745,210
借入金	10,300
外国為替	19
社債	15,000
その他負債	6,977
賞与引当金	881
退職給付引当金	10,012
役員退職慰労引当金	280
睡眠預金払戻損失引当金	743
偶発損失引当金	314
再評価に係る繰延税金負債	851
支払承諾	11,947
負債の部合計	1,802,537
(純資産の部)	
資本金	34,167
資本剰余金	29,773
利益剰余金	4,195
自己株式	△ 2,695
株主資本合計	65,441
その他有価証券評価差額金	1,020
繰延ヘッジ損益	△ 205
土地再評価差額金	280
評価・換算差額等合計	1,095
純資産の部合計	66,537
負債及び純資産の部合計	1,869,074

● 損益計算書

（平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	42,619
資金運用収益	33,336
（うち貸出金利息）	(27,068)
（うち有価証券利息配当金）	(6,086)
役務取引等収益	4,982
その他業務収益	1,945
その他経常収益	2,354
経常費用	39,604
資金調達費用	4,425
（うち預金利息）	(3,563)
役務取引等費用	4,090
その他業務費用	1,262
営業経費	25,136
その他経常費用	4,689
経常利益	3,014
特別利益	220
特別損失	182
税引前当期純利益	3,052
法人税、住民税及び事業税	29
法人税等調整額	979
当期純利益	2,042

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	47,207
コールローン及び買入手形	101,703
買入金銭債権	7,543
商品有価証券	178
金銭の信託	19,995
有価証券	429,248
貸出金	1,244,005
外国為替	986
その他資産	5,449
有形固定資産	13,381
無形固定資産	2,123
繰延税金資産	12,336
支払承諾見返	11,947
貸倒引当金	△ 29,923
資産の部合計	1,866,183
(負債の部)	
預金	1,738,484
借入金	2,000
外国為替	19
社債	15,000
その他負債	11,359
賞与引当金	900
退職給付引当金	10,013
役員退職慰労引当金	280
睡眠預金払戻損失引当金	743
偶発損失引当金	314
利息返還損失引当金	106
再評価に係る繰延税金負債	851
支払承諾	11,947
負債の部合計	1,792,021
(純資産の部)	
資本金	34,167
資本剰余金	29,773
利益剰余金	3,745
自己株式	△ 2,695
株主資本合計	64,991
その他有価証券評価差額金	1,020
繰延ヘッジ損益	△ 205
土地再評価差額金	280
評価・換算差額等合計	1,095
少数株主持分	8,075
純資産の部合計	74,162
負債及び純資産の部合計	1,866,183

● 連結損益計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	44,008
資金運用収益	33,681
(うち貸出金利息)	(27,399)
(うち有価証券利息配当金)	(6,100)
役員取引等収益	5,837
その他業務収益	1,943
その他経常収益	2,547
経常費用	40,216
資金調達費用	4,058
(うち預金利息)	(3,552)
役員取引等費用	3,481
その他業務費用	1,262
営業経費	25,967
その他経常費用	5,445
経常利益	3,792
特別利益	233
特別損失	182
税金等調整前当期純利益	3,843
法人税、住民税及び事業税	172
法人税等調整額	828
少数株主利益	351
当期純利益	2,491

● 子会社

(平成22年3月31日現在)

(株)みちのくサービスセンター ^(注1) 銀行事務代行業	
(株)みちのくオフィスサービス	労働者派遣事業
みち銀総合管理(株) ^(注2)	不動産の売買・所有・賃貸ならびに不動産の管理
みちのく信用保証(株)	住宅ローン等に係る信用保証業務
みちのくカード(株)	クレジットカード業
Michinoku Preferred Capital Cayman Limited	優先出資証券の発行、銀行への劣後ローン供与(特別目的会社)

(注1) 当行は、平成22年2月26日開催の取締役会において、株式会社みちのくサービスセンターを当行へ吸収合併することを決議しております。

(注2) みち銀総合管理株式会社は、平成22年1月19日に解散し、清算手続中であります。

株式の状況・株式のご案内 (平成22年3月31日現在)

●株式の状況

◆発行済株式総数

・普通株式	150,895,263 株
・A種優先株式	40,000,000 株

◆株主総数

・普通株式	14,163 名
・A種優先株式	1 名

●株式のご案内

◆事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

◆定時株主総会 毎年6月に開催いたします。

◆定時株主総会の
基準日 毎年3月31日

◆配当の基準日

・期末配当	3月31日
・中間配当	9月30日

◆単元株式数 1,000 株

◆公告の方法 電子公告といたします。
なお、電子公告は当行のホームページに掲載しております。

◆株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

◆事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

◆郵便物送付 〒168-8507
おおよび電話 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)

※平成22年6月25日より株主名簿管理人を変更しております。

ホームページのご案内

ホームページにて、常時情報を発信しております。
ぜひ一度当行ホームページをご覧ください。

<http://www.michinokubank.co.jp/>



家庭の銀行



THE MICHINOKU BANK, LTD.

<http://www.michinokubank.co.jp/>

平成22年6月発行

みちのく銀行 経営企画部広報室

〒030-8622 青森市勝田1-3-1 Tel.(017) 774-1111

みちのく銀行の決意

みちのく銀行は、頑張っている地元の皆さまを
これまで以上に総力を挙げて応援します。

いま世界は、日本は、そして地域の経済は、未曾有の難局に直面しています。

みちのく銀行は、皆さまに育てられ、成長してきた銀行です。

「ふるさと」が底の見えない難局に突入している今こそ、頑張っている皆さまを総力を
挙げて応援します。

何でも相談してください。

本当の問題解決のため、時には厳しいことも言わせていただくかも知れませんが、
お客さまのご要望とは異なるご提案をさせていただくこともあると思います。

でも、我々はお客さまにとって何が良いのかを一所懸命に考えます。

地域に根ざした金融機関である我々は決して逃げません。ご相談は真正面から本気で
受け止め、「真の問題解決」に向け総力を挙げて取り組みます。

「ネアカ・のびのび・へこたれず」をモットーに、皆さまとともに頑張ります。

「ふるさと」の明るい未来を引き寄せるために。

平成20年10月

みちのく銀行

頭取 **杉本康雄**

役職員一同



環境ISO14001

みちのく銀行は、環境への取り組みに関する国際規格
ISO14001の認証を、本店および全営業店で取得して
おります。



チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。
25